



写真とチラシの内容は関係ありません

子どもが不登校を始めた時に、「どうしてうちの子どもが…」と、あせり苦しむ親は少なくありません。親があわてたりすると、子どもはますます不安になります。子どもは弱いわけでも、怠けているわけでもありません。勿論、心の病気でもありません。高速道路に例えるならば、パーキングエリアに入っただけなのです。親の会で同じ立場の人と出会い、語り合うことで心がかかるくなります。子どもの気持ちが見えてきます。親の会でああなたの思いを語ってみませんか？

カラコルの会 で語り合いませんか

日田市不登校・ひきこもりを考える親の会

7月 カラコルの会

- 日時 2017年7月25日(火) 19:30 ~ 21:30
- 場所 日田地区教育会館 日田市大字渡里 1031-1
- 参加費 無料
- 問合せ 090-1190-9693 (三苫)

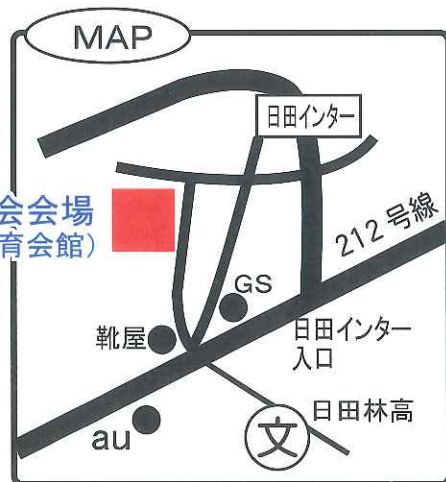
ミニ講演
(30分)

グループ・カウンセリング
(90分)

↑ 不登校を子どもの立場で理解する

<講師> 加嶋文哉氏

星の会(不登校を考える親の会)代表
教育・不登校研究所「明日が見える」所長



8月

- 日時 8月29日(火) 19:30 ~ 21:30
- 場所 日田地区教育会館
- 参加費 無料

不登校を考える親の会とは何か

不登校を考える親の会は、同じ立場の親たちが、互いに体験を交流しながら子どもや不登校についての理解を深める会です。

親の会は例会を開いています。例会では、同じ立場だからこそできる「気持ちの共有」をします。誰にも話すことができなかつたことを言葉にすることができます。

親の会(セルフ・ヘルプグループ) Q&A

Q1 例会ではどんなことを話すの？

例会ではアドバイスなどはあまりしません。アドバイスが親を楽にするどころか、逆に追いつめてしまうことが多いことを知っているからです。例会では、子どもの状況を話したり、親自身の気持ちを言葉にします。すると、自分だけではないということが分かり少し安心できます。

また、だれにも話せない陰性感情(怒り・嫌悪感・憎しみ)も言葉にすることができます。

Q2 ただ、気持ちを話すだけで意味があるの？

子どもが苦しいのは当然ですが、親もどうにもならない深い苦しみを抱えています。しかし、多くの親はその気持ちを抑え込んでいます。「自分がしっかりしないといけない」と心が疲弊しています。その心を聴きとってもらふことで、親は心を楽にすることができます。心を聴きとってもらえた親は、本当の意味で子どもに寄り添うことができます。

Q3 例会に参加するがどうが迷っています？

連絡先の方に電話をかけて、会の説明を聞いてみてはどうでしょう。その上で、一度例会に参加してみて、「自分に合う」と感じたら続けられれば良いと思います。例会で話すかどうか、自分で決めます。「他の人の話を聞くだけ」と参加される方もいます。他の人の話を聞くだけでも参考になりますよ。

支援者のみなさんへ

親の会を保護者の方に紹介して下さる

不登校・ひきこもり支援の基本は子ども(当事者)支援ですが、本人がその支援を拒否する時があります。「家庭訪問をしても会ってくれない」「保健室登校を勧めてもうまくいかない」「相談機関を紹介しても続かない」…。「会わない・行かない・続かない」状況です。そんな時は、親の支援をすることが、何よりの子ども支援となります。

子どもはそばにいる親が慌てていると、「私が不登校をしているせいだ」と自分を責めて、自分自身と向き合うことができませぬ。親がおちつくこと、どうしたいのかを考えることができます。社会的自立の道を歩み始めます。親支援の一つに「親の会」があります。子どもの不登校やひきこもりで悩んでいる保護者の方に、親の会を紹介して下さい。

感想

カラコルの会に参加した方の声
〔光岡小育友会新聞
「こてるおか」参照〕

■子どもの不登校をきっかけに、子どもの心に寄り添うようになった。「こうしてほしい」より、子どもが「今どうしたいのか」を考えたりするようになり、親子共に心が楽になれた。今では、毎月の集まりで話すことが楽しみ。

■自分と子どもの事を共有してくれのお母さんがいてくれて本当に良かった。同じような思いをしている方に、この会を知ってほしい。

■家ではなかなか話せないことも話せて、気持ちを分かち合うことのできる場所ができた。

■この会に参加して、子どもの苦しみを理解するようになった。子どもも「学校に行かなきゃいけない」「親に申し訳ない」と感じている。お互いに見えない心の苦しみを持っている。

■会に参加することでいろいろな情報を知ることができ、心配だった子どもの進路等についても必要なことを得られた。